

- クラウドで管理する統合ツール 鳥獣被害対策、ジビエの利活用、自治体でのデータ処理等をクラウドで管理
- 簡単3ステップで登録完了！ アプリで写真撮影すれば捕獲個体の体長等を自動推計し、リアルタイムで共有
- 事務作業の効率化！ クラウド上のデータから報告書やグラフ、図表を自動作成でき、次の対策に活用可能

企業概要

RFJ株式会社

〒102-0094
東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニガーデンコート19階
TEL:03-3527-2820
FAX:03-3527-2821
https://www.rfjapan.co.jp/
info@rfjapan.co.jp

- 情報サービス業
- オープンデータを活用したGISサービスを中心にお客様に最適なサービスを提供しております。

活用技術

- AR(拡張現実)
- GPS
- GIS
- インターネット
- クラウド
- スマートフォン

※ スマートジビエは、(国研)農研機構生研支援センター「生産性革命に向けた革新的技術開発事業」のうち「スマート捕獲・スマートジビエ技術の確立」により「被害対策に資する捕獲・利活用コンソーシアム」で共同研究開発されています。

機器情報

商品概要

イノシシやシカの「捕獲・解体・利活用」をリアルタイムで共有して見える化。日時や場所、体長および体重などの捕獲に関わるデータを自動で収集し、解体処理施設や飲食店等と共有できる捕獲個体の総合管理システムです。

使用目的

捕獲情報の蓄積・共有・利活用

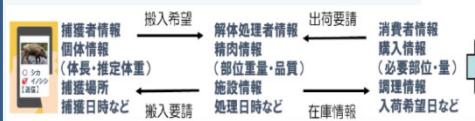
- ・有害鳥獣の捕獲記録
- ・捕獲個体のジビエ利活用
- ・捕獲や生息エリアの可視化
- ・事務作業等の効率化

対象獣種

イノシシ、シカ

特徴

- ・捕獲情報の自動登録
- ・捕獲状況の図表化
- ・有害鳥獣捕獲確認書に準じたデータ収集



自治体 国・都道府県・市町村
「鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業における有害捕獲確認書」にあわせた捕獲実績のデータ化や情報の収集・分析が可能
統一規格による業務負担軽減 利用者ID登録
自動グラフ作成(数値/地域/期間) 情報分析(検索/ノート/マップ)

≫ 自動処理 & データの見える化で業務負担軽減!



捕獲従事者

かんたんな操作で捕獲個体の情報登録が可能
個体撮影(AIによる体長や体重の自動計算)
捕獲者/日時/場所/止め刺し方法
データ保存/分析 解体施設へ通知

≫ 捕獲後は、かんたん3ステップ!



解体施設

効率的な受入と正確な在庫管理が可能
捕獲従事者との連携 在庫のシナクレーション
管理/販売/廃棄



消費者等

地域資源としての有効活用
在庫状況 販売状況

捕獲データの管理
捕獲データの蓄積と解析
捕獲地
成獣比
確認作業など

導入実績

導入市町村

- ・長崎県20市町、群馬県川場村など
その他導入準備中の市区町村多数

導入効果

【自治体】クラウド上で捕獲個体の情報を確認でき、書類作成作業も効率化される

【捕獲者】電波が入らない場所でも記録が残せる、捕獲に専念できる

【解体施設】搬入前に通知があるので効率よい作業ができ、精肉情報の管理やジビエ販売の商品登録も可能

イニシャルコスト、ランニングコスト

基本料金

市区町村:年間20万円(税別)~

※ 年度単位のご利用となります。
 ※ システム利用には、別途スマートフォンが必要です。
 インターネット接続可能なAndroid9.0以降で
 ARCore対応機種

詳細につきましては、お気軽にお問い合わせください。